

1. 全体評価

森林・林業再生基盤づくり交付金 推進費 目標年度報告

(1)

政策目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林整備の推進												
森林の多様な利用・緑化の推進			報告年度未到来のため該当なし									
望ましい林業構造の確立												
特用林産物の振興												
木材利用及び木材産業体制の整備推進												
山地防災情報の周知												
森林資源の保護	森林資源保護の推進	被害先端区域(試験区)におけるナラ枯れ被害木駆除本数										36
	森林環境保全の推進	保安林指定の推進	989	百ha	H26 (H24)	1,019	百ha	H27	1,016	100%	H27	(調査方法)「平成27年度保安林又は保安施設地区に関する事務の報告」による(調査年月日)H28.3.31現在
林業担い手等の育成確保	担い手確保・育成対策	新規就業者数	43	人	H26 (H22~H24)	45	人	H27	30	67%	H27	
	林業労働災害撲滅プロジェクト	災害発生件数(減少率)	59	件	H26 (H24)	50 (18.0%)	件	H27	33 (44.1%)	245%	H27	
市町村直接交付モデル整備												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績/目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、本要領第7の1に基づくとこと。

(2)総合評価

政策目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記述するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記述する。

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

政策目標	本事業により実施した政策目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進	報告年度未到来のため該当なし	
森林の多様な利用・緑化の推進		
望ましい林業構造の確立		
特用林産物の振興		
木材利用及び木材産業体制の整備推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護	<p>【森林資源保護の推進】 本事業で25本のカシナガキクイムシ被害木に対し粘着シート等による防除を実施し、被害拡大を抑制するとともに、伐倒を伴わない防除手法の実証試験を行い、効率的なカシナガの脱出抑制法を開発した。 また、その結果について、学会等で発表した。</p> <p>【森林環境保全の推進】 保安林を中心に巡視活動を行うとともに、「やまぐち農林水産業活力創出行動計画」等の目標に基づく保安林の指定を推進した。保安林の指定面積は目標面積をほぼ達成した。</p>	<p>【森林資源保護の推進】 現在のところ被害の急激な拡大や増加は見受けられないが、一定の被害は継続して発生しているため、今後も被害先端地での防除及び効果的な防除方法の確立に向けた研究が必要。</p> <p>【森林環境保全の推進】 森林の公益的機能の確保のため、引き続き保安林等の巡視活動に取り組むとともに、計画的かつ重点的な保安林の指定を推進する。</p>
林業担い手等の育成確保	<p>就業ガイダンス等で新規就業促進を行ったが、好景気のため就業希望者が他産業に就業したため、目標より下回った。 また、林業認定事業者を中心とした労災防止講習会等を開催した結果、災害発生件数は目標より大幅に低くなった。</p>	<p>新規就業希望者が就業条件等の選択ができるよう、新規就業者の受け皿となる認定事業者の増加に取り組む。 労災防止講習会等の開催を引き続き行う。</p>
市町村直接交付モデル整備		

(注)

- 1 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 2 本表には、政策目標ごとに評価等を記入すること。